

# 野本将軍塚古墳 改訂版(東松山市)

正面の木々の所が南西側から見た野本将軍塚古墳/残存墳丘長115mで後円部3段、前方部2段築成の大型前方後円墳

[video](#)



これは西側の農村センターから見たところ/正面前方が「くびれ部」の辺り/左手が後円部、右手が前方部





右手の前方部脇には、利仁山無量寿寺のへ参道入口がある/野本將軍塚古墳についての説明板や石碑も立っている





「昭和35年3月1日指定 埼玉県指定史跡 将軍塚古墳」とある





利仁神社の社殿が、この野本將軍塚古墳の後円部の墳頂に鎮座している

埼玉県指定  
史跡

# 將軍塚古墳

埼玉県指定 昭和二十五年二月一日

將軍塚は埼玉県内の古墳中、行田市埼玉二子山古墳に次ぐ巨大な前方後円墳で、周辺一帯の去られてきたが、墳丘は比較的よく保存されている。

現存する墳丘の全長は三三米、高さは前方部で八米、後円部は一三米、総面積は五七五・三二平方米に及ぶものである。また、学術的発掘調査が行なわれていないので、内部主体や外部施設の状態などは明らかでない。

この將軍塚を中心として、東北方には柏崎古墳の古墳群があり、南方の台地には高塚の古墳群、西方には青鳥塚原の古墳群が分布し、更に吉見丘陵には吉見百穴(横穴群)がある。この古墳の分布は、古墳時代を通じて、地方が高度の社会的発達を遂げた所と考えられる。

尚、後円部の墳頂に利仁神社の社殿が鎮座している。利仁神社は、古墳時代の初期築造と見られ、古墳時代を通じて、地方物として收納されてきたものである。



その利仁神社の鳥居/左手が後円部、右手が前方部/正面は丁度その「くびれ部」にあたる

 [video](#)





そこで左手(後円部方向)を見たところ





同じく、右手(前方部方向)を見たところ





これは左手の後円部の墳丘であるが、この先に進み、北側から墳丘を見てみよう






これは北西側から後円部を見たところ





その右手を見たところ/正面に説明板が立っている

 video





今までは5世紀末から6世紀初めの築造と推定されていたが、最近の研究によると4世紀後半の築造とされる

## 野本將軍塚古墳

昭和三十五年三月一日県指定史跡

將軍塚古墳は、県内有数の大きさを誇る前方後円墳です。墳丘の大きさは、全長一一五m、高さ前方部で八m・後円部で一五mです。

まだ学術調査が実施されていないので、内部主体（埋葬施設）や外部施設（ハニワなど）は明らかではありません。

將軍塚古墳を中心に、東北には柏崎・古凍古墳群、南には高坂・諏訪山古墳群、西には塚原・青島古墳群、さらに吉見丘陵西斜面には吉見百穴群が分布しています。このような古墳の分布は、古墳時代すでにこの地方が、高度の社会的発展をとげていたものでしょう。



昭和五十三年三月

東松山市教育委員会

文化財を大切にしましょう。



少し退いて北西側から見たところ/手前は利仁山無量寿寺の駐車場

 [video](#)





これは北東側から後円部を見たところ

[video](#)





墳丘の東側の道を左手に進み、後円部から前方部方向を見たところ/「くびれ部」の様子が見て取れる

[video](#)





その先の前方部分へ進んだところ





そこで、振り返って見たところ





前方部方向を更に進むと、これ以上は民家の敷地になっていて進めない





そこで、振り返って見たところ

 video





さて、これは南東側から民家越しに墳丘を見たところ/左手前が前方部、右奥が後円部





これは南側からやはり民家越しに前方部を見たところ





さて、墳丘に登ってみよう/ここが「くびれ部」で左手が後円部、右手が前方部

[video](#)





そこで左手の後円部を見上げたところ/3段築成となっている/墳頂に利仁神社の社殿が見える





同じく、右手の前方部を見たところ/2段築成となっている/墳頂に石碑(忠魂碑)が見える





「くびれ部」に登ったところ





下には先程進んだ東側の道が見える





そこで、振り返って見たところ





その更に先を見下ろしたところ





そこで、左手の前方部方向を見たところ

 video





同じく、右手の後円部方向を見たところ





後円部墳頂の利仁神社へと進み、その墳丘を見上げたところ/3段築成の様子が見て取れる





そこで、左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





小祠があった

 video





さて、これが利仁神社社殿/藤原利仁を祀っているという/ここが後円部の墳頂





そこで、左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





利仁神社社殿

 video





左手から見たところ





そこで、右手を見たところ

 video





墳頂から前方部方向を見下ろしたところ






そこで、左手を見たところ





同じく、右手を見たところ

 video





「くびれ部」から前方部方向を見たところ





そこで、左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





前方部は後円部に比べてかなり低い/古式の墳形と云うことであろうか





ここが前方部の墳頂/「忠魂碑」が立てられている





そこで、振り返って後円部方向を見たところ





これは前方部墳頂の南端から後円部方向を見たところ





そこで、左手を見たところ





同じく、右手を見たところ





同じく、振り返って南端の下を見たところ/民家が見える

 video






墳丘を下りてその民家を見たところ





そこで、左手に前方部の墳丘裾を見たところ

 video





ここが前方部墳頂の「忠魂碑」への登り口





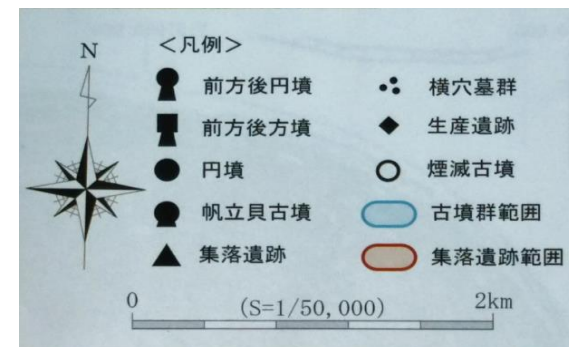
これがその「忠魂碑」

[video](#)





これは野本將軍塚古墳の地政学的特色が見てとれる、周辺の古墳時代の遺跡分布図/都幾川を挟んだ南側の低湿地に展開する反町遺跡からは、古墳時代初頭の玉造りの生産工房を含む数多くの住居跡群が発掘されている/このことから、野本將軍塚古墳の被葬者は、津(都幾川の湊としての機能)を利用して他地域との交易を営んだ当地域の大首長である可能性が指摘されている



平成30年12月9日「シンポジウム 野本將軍塚古墳の時代」の冊子より 一部流用



## 参考ホームページ

<http://www.fuwaiin.com/kofun/saitama-nomoto-syougunzuka-kofun/saitama-nomoto-syougunzuka-kofun.html>

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2018/02/22/000000>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12309554808.html>

<homepage.obunko.com/iseki/kohun/shogunzuka.htm>

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/34\\_mty/nomoto1.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/34_mty/nomoto1.html)

<http://raumensyunpou.gooside.com/sanpo/sanpo200305052.html>

<http://kofuntokaare.main.jp/6goufun/page220.html>

<https://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-769.html>

[https://tesshow.jp/saitama/ematsuyama/sight\\_nomoto\\_shogn.html](https://tesshow.jp/saitama/ematsuyama/sight_nomoto_shogn.html)

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/higashimatsu/nomoto.htm>

<http://kagura.wa-syo-ku.com/古墳/野本將軍塚古墳>

<http://tosyokan-bicycle.cocolog-nifty.com/blog/2018/09/post-e851.html>

[https://masaii.at.webry.info/200710/article\\_60.html](https://masaii.at.webry.info/200710/article_60.html)



